

「デジタルアーカイブ技術による契丹国の歴史 考古言語資料の復原的研究と集成」研究班 2013年度研究活動成果報告

I 「2013年度研究活動の概要」

武田 和哉

本研究班は、2013年度日本学術振興会科研費基盤研究（C）の採択を受けて発足し、大谷大学真宗総合研究所の一般研究班として活動を行ってきた。今年度における研究体制は以下のとおりである。（【 】内は真宗研研究班での役位）

- 研究代表者 武田和哉（大谷大学文学部准教授）【研究代表者】
- 連携研究者 町田吉隆（神戸市立工業高等専門学校教授）【協同研究員】
- 同 藤原崇人（関西大学東西学術研究所研究員）【協同研究員】
- 研究協力者 松川 節（大谷大学文学部教授）【研究員】
- 同 高橋学而（福岡文化学園博多女子高校教諭）【協同研究員】
- 同 等々力政彦（北海道大学スラブ研究所共同研究員）【協同研究員】
- 同 武内康則（日本学術振興会 PD／大谷大学特別研究員）【協同研究員】

また、本年度の研究活動の概要は以下のとおりである。

- 2013年 4月 研究班発足会議・打ち合わせ（於：大谷大学）
- 2013年 8月 中国遼寧省訪問（於：中国遼寧省遼陽市・瀋陽市・鉄嶺市・阜新市および北京市／出張者：武田・町田・藤原・高橋）
- 2014年 1月 研究集会（於：大谷大学真宗総合研究所）
- 研究報告：武内康則「契丹大字フォントの作製と異体字データベースの構築について」

コメント：松川節

研究報告：藤原崇人「10～12世紀の東部ユーラシアと「北流」仏教」

コメント：橘堂晃一（龍谷大学）・横内裕人（京都府立大学）

外部研究者招聘講演：董新林（中国社会科学院考古研究所）「遼祖陵の発掘成果と2014年上京内発掘調査概要」

通訳：包慕萍（東京大学／法政大学）・龔婷（奈良女子大学）

コメント：江川式部（明治大学）・武田和哉